

The background features a panoramic view of a modern city skyline, likely Hong Kong, with numerous skyscrapers and a prominent Ferris wheel. A large, stylized red graphic, resembling a map of Southeast Asia, is overlaid on the left side of the image. The sky is bright blue with scattered white clouds.

# アセアン投資の魅力

当社はアセアン10カ国の中でもベトナム、インドネシア、フィリピン、タイに注目しています

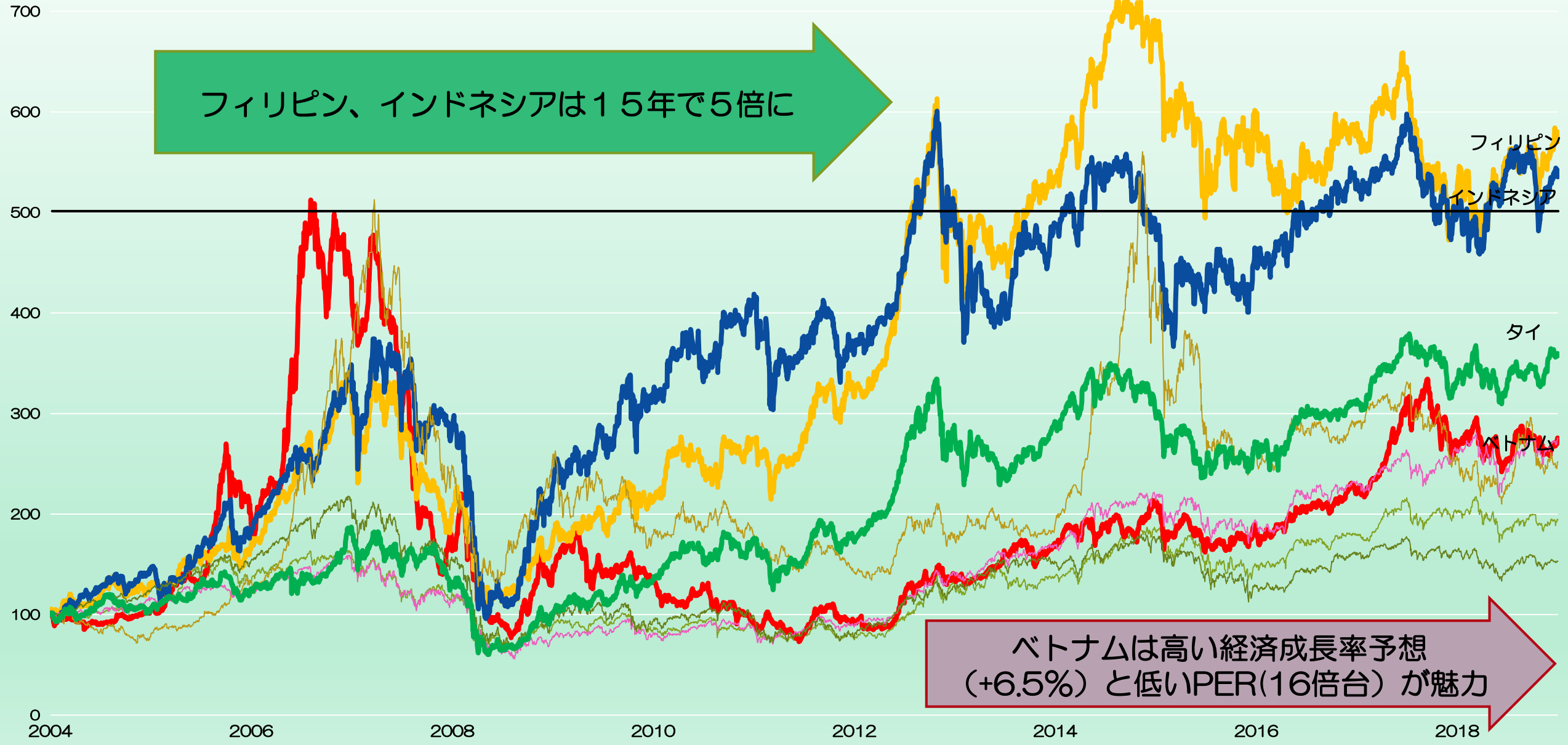
世界の主要株式市場の騰落率（過去15年、円建て）

# 世界の主要株式市場の騰落率（過去15年、円建て）

日次騰落率  
2019年7月25日現在

フィリピン、インドネシアは15年で5倍に

ベトナムは高い経済成長率予想  
(+6.5%) と低いPER(16倍台) が魅力





# 当社は株式での資産運用の基本は 以下の3つにあると考えます

## 1. 銘柄分散をすること

魅力ある個別株式の発掘やその将来性を信じて投資することは、株式投資の醍醐味の一つではある。しかし資産運用という観点からは、特定の銘柄に資金を集中することなく、ポートフォリオ効果(複数の銘柄に投資資金を分散することで資産全体の価格変動幅＝リスクが抑制されること)を引き出すために、一定数以上の銘柄に同時に投資するのが良いとされる。

## 2. 時間分散をすること

投資のタイミングをピンポイントで探し出すことは至難の業であり、プロと言われる人物でも容易ではない。長期投資を前提に、資金投入は複数回に分けて行うのが現実的かつ実効性の高い投資手法である。

## 3. 長期投資に徹すること

一般的な株式投資では、長期にわたる経済成長の恩恵をえることで相対的に大きな収益を上げることができる。そこでは個別企業情報に加えて、投資対象国のマクロ環境や当該対象国の世界経済環境におけるその位置づけ等への理解・分析が不可欠となる。

# 長期投資にはアセアン株式が最適

- 過去 15 年の日欧米及びアジアの株式市場の動きを見ると、リーマンショック以後(中国を除く)アジア株式の戻りは早く、その後の米国株(S&P500 種)主導の上昇相場の中でもアジア株式市場が目覚ましい上昇率を見せている。
- アジアの中でも当社が注目するベトナム(VN 指数)、インドネシア(ジャカルタ総合指数)、フィリピン(フィリピン総合指数)およびタイ(SET)の株式市場の伸長が著しい。
- 同 15 年間、VIP 3 カ国の株式市場は騰落率(円建て)で、米国、中国(上海総合)、EU (STOXX 欧州 600)、日本(日経 225)の株式市場を凌ぐパフォーマンスを示している。
- 2020 年の年央に向け利下げ観測のあるフィリピン、インドネシアの株式市場は今後も、より良いパフォーマンスが期待できると思われる。
- 後発の新興国であるベトナムは、アセアンでも他を凌ぐ高い経済成長率を誇る。停滞が懸念される中国、成長にやや驕りがみえ始めたインドを尻目に経済の躍進が期待されている。PER で見て最も割安なベトナム株式は、今後、フィリピン、インドネシア同様のパフォーマンスも期待できる。
- アセアン株式は今後長期の株式投資による資産形成を考える上では欠かせない存在であるが、現在これらの国々の個別銘柄情報は一般には入手しづらくプロに任せるのが最も効率的である。そして投資信託(銘柄分散されている)を時間分散で購入することが最も有益な投資行動だと考えられる。

# 留意事項

- 本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社(CAM)が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 記載された事項は、CAM が信頼できると思われる情報に基づき作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。
- 記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を示唆・保証するものではありません。
- 金融商品への投資は、商品毎にご負担いただく手数料及び諸経費が異なります。
- 投資商品の運用の損益は、全て投資家の皆様に帰属します。
- 投資のご検討あるいは実際の投資の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)等で、リスク及び手数料等を十分にご理解の上、投資家ご自身でご判断ください。



*Capital Asset Management*